

人間発達環境学研究科

1-2. 教育課程の編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、人間発達環境学研究科人間発達専攻は、人類全体に提起された根本的課題に対し、「ヒューマン・コミュニティ創成研究*」に関する幅広い視野と深い専門的知識の上に立ち、人間の発達に関し、既成の学問領域を超えた新しい実践知の創造を目指した教育研究に取り組む。そのため、以下に示した方針に従って、カリキュラムを編成する。

*「ヒューマン・コミュニティ創成研究」とは、人間的な社会の創造を目指して、大学が地域、行政、企業、NPO、NGO、市民などと連携しつつ、人間の発達及びそれを取り巻く環境について原理的、実践的に研究する活動の総体を示す。

人間発達専攻前期課程

- (1) 人間の発達及び人間の発達を支える環境に関わる深い学識の涵養を図るために、研究科のすべての学生が履修する共通のコア科目として、以下の人間発達環境学研究科共通科目(前期課程第1群)を開設する。

「ヒューマンコミュニティ創成研究 A,B」「日本語・日本事情Ⅰ-1,2」「日本語・日本事情Ⅱ-1,2」
「ESD 研究 1,2」「ESD 研究演習 1,2,3,4」「特別研究Ⅰ,Ⅱ」

- (2) 人間の発達に関する総合的かつ高度な専門的学識の涵養を図るために、人間発達専攻のすべての学生が履修する共通の科目として、以下の人間発達専攻共通科目(前期課程第2群)を開設する。

「人間発達総合研究Ⅰ-1, 2」「人間発達相関研究」
「人間発達研究(こころ系)」「人間発達研究(表現系) 1, 2」「人間発達研究(からだ系)」
「人間発達研究(学び系) 1, 2」

- (3) 人間の発達に関する諸課題を専門分野に根ざして実践的に解決できる能力を身につけさせるために、以下の人間発達専攻専門科目(前期課程第3A群及び第3B群)を開設する。

第3A群は、人間発達を「個人の創造的発達」の視点から捉え、人間が潜在的に有する多様な能力の開花の過程を対象とする専門科目群で、第3B群は、「個人の創造的発達を促す関係性」の視点から人間発達を捉え、人間相互の関係(表現、相互触発、支援、教育等)により促進されて潜在的な能力が開花する過程を対象とする専門科目群である。(カリキュラムマップ参照)

なお、これらの科目は、講義・演習・フィールドワーク等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせで行う。また、学修成果の評価は、学修目標に即して多元的・包括的な方法で行う。

- (4) カリキュラム・マップ

学生の研究及び履修計画に資するために、カリキュラムマップを別添の通り定める。

人間発達専攻後期課程

- (1) 人間の発達に関する研究を自立して行う能力や人間の発達に関する共同研究や学際研究を企画・組織する能力、また大学教員としての教育力を涵養するために、以下の人間発達環境学研究科共通科目(後期課程第1群)を開設する。

「特別研究Ⅲ」「特別研究Ⅳ」「教育能力養成演習」

「特別研究Ⅲ」は、文献課題やレビュー論文の作成などを通して国内外の研究状況を把握するための能力を、「特別研究Ⅳ」は、フィールドワークやワークショップ、研究会、プロジェクト研究などの企画・運営への参画を通して研究を組織化する能力を、また「教育能力養成演習」は、大学教員としての実践的教育能力の涵養を図る。

- (2) 人間の発達に関する多様な研究分野を俯瞰し、あらたな研究課題や領域の開拓へと活かす創造的能力を涵養するために、以下の人間発達環境学研究科人間発達専攻共通科目(後期課程第2群)を開設する。

「人間発達総合研究Ⅱ-1, 2」

- (3) 人間の発達に関する各研究分野に関連した高度な研究能力と、人間の発達に関する諸課題を専門分野に根ざして実践的に解決できる専門的力量を深化させるために、人間発達専攻専門科目(後期課程第3A群及び第3B群)を開設する。

第3A群は、人間発達を「個人の創造的発達」の視点から捉え、人間が潜在的に有する多様な能力の開花の過程を対象とする専門科目群で、第3B群は、「個人の創造的発達を促す関係性」の視点から人間発達を捉え、人間相互の関係(表現、相互触発、支援、教育等)により促進されて潜在的な能力が開花する過程を対象とする専門科目群である。

なお、これらの科目は、講義・演習・フィールドワーク等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせで行う。また、学修成果の評価は、学修目標に即して多面的・包括的な方法で行う。

- (4) 学位論文提出までのプロセス・指導体制

後期課程の3年間で円滑に博士論文を作成できるようにするため、指導教員による個別指導に加え、複数教員による体系的な論文作成指導(基礎論文・予備審査論文、公開最終試験)を行う。学位論文提出までのプロセスは以下の通りである。

「博士論文構想」の提出(後期課程1年4月)

→「基礎論文」の提出(後期課程1年2月) → 「基礎論文」の審査(後期課程2年4月)

→「予備審査論文」の提出(後期課程3年10月) → 「予備審査論文」の審査(後期課程3年12月)

→「博士論文」の提出(後期課程3年1月) → 「博士論文」の公開審査及び最終試験(後期課程3年2月)

2-2. 教育課程の編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、人間発達環境学研究科人間環境学専攻は、人類全体に提起された根本的課題に対し、「ヒューマン・コミュニティ創成研究*」に関する幅広い視野と深い専門的知識の上に立ち、人間の発達を取巻く環境に関し、既成の学問領域を超えた新しい実践知の創造を目指した教育研究に取り組む。そのため、以下に示した方針に従って、カリキュラムを編成する。

*「ヒューマン・コミュニティ創成研究」とは、人間的な社会の創造を目指して、大学が地域、行政、企業、NPO、NGO、市民などと連携しつつ、人間の発達及びそれを取り巻く環境について原理的、実践的に研究する活動の総体を示す。

人間環境学専攻前期課程

- (1) 人間の発達及び人間の発達を支える環境に関わる深い学識の涵養を図るために、研究科のすべての学生が履修する共通のコア科目として、以下の人間発達環境学研究科共通科目(前期課程)を開設する。

「ヒューマンコミュニティ創成研究 A,B」「日本語・日本事情Ⅰ-1,2」「日本語・日本事情Ⅱ-1,2」
「ESD 研究 1,2」「ESD 研究演習 1,2,3,4」「特別研究Ⅰ,Ⅱ」

- (2) 人間の発達を支える環境に関する総合的かつ高度な専門的学識の涵養を図るために、人間環境学専攻のすべての学生が履修する共通の科目として、以下の人間環境学専攻共通科目(前期課程)を開設する。

「人間環境学相関研究 1, 2」

- (3) 人間の発達を支える環境の創成や環境に関わる諸課題を、専門分野に根ざして実践的に解決することのできる創造的な研究能力を身につけさせるために、人間環境学専攻専門科目(前期課程)を別添の通り開設する。(カリキュラムマップ参照)

なお、これらの科目は、講義・演習・フィールドワーク等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせで行う。また、学修成果の評価は、学修目標に即して多角的・包括的な方法で行う。

- (4) カリキュラム・マップ

学生の研究及び履修計画に資するために、カリキュラムマップを別添の通り定める。

人間環境学専攻後期課程

- (1) 人間の発達を支える環境に関わる研究を自立して行う能力や人間の発達を支える環境に関わる共同研究や学際研究を企画・組織する能力、また大学教員としての教育力を涵養するために、以下の人間発達環境学研究科共通科目(後期課程)を開設する。

「特別研究Ⅲ」「特別研究Ⅳ」「教育能力養成演習」

「特別研究Ⅲ」は、文献課題やレビュー論文の作成などを通して国内外の研究状況を把握するための能力を、「特別研究Ⅳ」は、フィールドワークやワークショップ、研究会、プロジェクト研究などの企画・運営への参画を通して研究を組織化する能力を、また「教育能力養成演習」は、大学教員としての実践的教育能力の涵養を図る。

- (2) 人間の発達を支える環境に関する各研究分野に関連した高度な研究能力や人間の発達を支える環境に関する諸課題を専門分野に根ざして実践的に解決できる専門的力量、また多様な研究分野を俯瞰し、あらたな研究課題や領域の開拓へと活かす創造的能力を修得させるために、人間環境学専攻専門科目群(後期課程)を開設する。

なお、これらの科目は、講義・演習・フィールドワーク等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせで行う。また、学修成果の評価は、学修目標に即して多角的・包括的な方法で行う。

- (3) 学位論文提出までのプロセス・指導体制

後期課程の3年間で円滑に博士論文を作成できるようにするため、指導教員による個別指導に加え、複数教員による体系的な論文作成指導(基礎論文・予備審査論文、公開最終試験)を行う。学位論文提出までのプロセスは以下の通りである。

「博士論文構想」の提出(後期課程1年4月)

→「基礎論文」の提出(後期課程1年2月) →「基礎論文」の審査(後期課程2年4月)

→「予備審査論文」の提出(後期課程3年10月) →「予備審査論文」の審査(後期課程3年12月)

→ 「博士論文」の提出(後期課程 3 年 1 月) → 「博士論文」の公開審査及び最終試験(後期課程 3 年 2 月)

人間環境学専攻 前期課程

	備考	1年次				2年次					
		前期		後期		前期		後期			
		第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター	第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター		
人間の発達及び人間の発達を支える環境に関する深い学識	人間の発達及び人間の発達を支える環境に関する深い学識の涵養を図るための研究科共通科目	ヒューマンコミュニティ創成研究A	ヒューマンコミュニティ創成研究B								
		日本語・日本事情Ⅰ-1	日本語・日本事情Ⅰ-2	日本語・日本事情Ⅱ-1	日本語・日本事情Ⅱ-2	ESD研究1	ESD研究2	ESD研究演習1	ESD研究演習2		
人間の発達を支える環境に関する学際的かつ高度な専門的学識	人間の発達を支える環境にアプローチするための多様な視点を獲得するための専攻共通科目	人間環境学相関研究1	人間環境学相関研究2								
		インターンシップⅠA	インターンシップⅠB	インターンシップⅠC							
人間の発達を支え、促すための環境に関する専門的学識と実践能力	人間の発達と関係する「自然環境」に関する幅広い諸課題を捉え、実践的に解決できる専門的学識と実践能力	環境基礎物質科学A-1	環境基礎物質科学A-2								
		環境基礎物質科学B-1	環境基礎物質科学B-2								
		環境基礎物質科学C-1	環境基礎物質科学C-2								
		自然環境先端科学A	自然環境先端科学B								
				環境基礎生命科学A-1	環境基礎生命科学A-2						
				環境基礎生命科学B-1	環境基礎生命科学B-2						
				環境分子生命科学特論1	環境分子生命科学特論2						
		環境光合成科学特論Ⅰ-1	環境光合成科学特論Ⅰ-2	環境光合成科学特論演習1	環境光合成科学特論演習2						
		植物多様性特論Ⅰ-1	植物多様性特論Ⅰ-2	植物多様性特論演習1	植物多様性特論演習2						
		環境適応科学特論Ⅰ-1	環境適応科学特論Ⅰ-2	環境適応科学特論演習1	環境適応科学特論演習2						
		環境地球化学特論Ⅰ-1	環境地球化学特論Ⅰ-2	環境地球化学特論演習1	環境地球化学特論演習2						
		環境地質学特論Ⅰ-1	環境地質学特論Ⅰ-2	環境地質学特論演習1	環境地質学特論演習2						
				宇宙環境物理学特論Ⅰ-1	宇宙環境物理学特論Ⅰ-2						
				粒子物理学特論Ⅰ-1	粒子物理学特論Ⅰ-2						
		紫外線・放射線作用特論Ⅰ-1	紫外線・放射線作用特論Ⅰ-2	紫外線・放射線作用特論演習1	紫外線・放射線作用特論演習2						
				自然階層構造特論1	自然階層構造特論2						
		分析化学特論Ⅰ-1	分析化学特論Ⅰ-2	分析化学特論演習1	分析化学特論演習2						
		環境有機化学特論Ⅰ-1	環境有機化学特論Ⅰ-2	環境有機化学特論演習1	環境有機化学特論演習2						
		超分子化学特論1	超分子化学特論2	超分子化学特論演習1	超分子化学特論演習2						
		環境創成科学特論Ⅰ-1	環境創成科学特論Ⅰ-2								
		高次生命機能特論Ⅰ-1	高次生命機能特論Ⅰ-2								
		環境植生学特論Ⅰ-1	環境植生学特論Ⅰ-2								
		人間の発達と関係する多様化した「数値情報環境」に関する諸課題を捉え、実践的に解決できる専門的学識と実践能力		統計解析特論1	統計解析特論2	統計解析特論演習1	統計解析特論演習2				
				統計推測特論1	統計推測特論2	統計推測特論演習1	統計推測特論演習2				
				情報数理方法特論Ⅰ-1	情報数理方法特論Ⅰ-2						
				情報数理方法特論演習1	情報数理方法特論演習2						
				情報論理特論Ⅰ-1	情報論理特論Ⅰ-2	情報論理特論演習1	情報論理特論演習2				
非線形数理特論Ⅰ-1	非線形数理特論Ⅰ-2			非線形数理特論演習1	非線形数理特論演習2						
数式処理特論Ⅰ-1	数式処理特論Ⅰ-2			数式処理特論演習1	数式処理特論演習2						
応用幾何学特論Ⅰ-1	応用幾何学特論Ⅰ-2	応用幾何学特論演習1	応用幾何学特論演習2								
人間の発達と関係する「生活環境」に関する幅広い諸課題を捉え、実践的に解決できる専門的学識と実践能力		生活空間計画特論Ⅰ-A	生活空間計画特論Ⅰ-B	生活空間計画特論演習A	生活空間計画特論演習B						
		機械機能応用特論Ⅰ-A	機械機能応用特論Ⅰ-B	機械機能応用特論演習A	機械機能応用特論演習B						
		植物環境学特論Ⅰ-A	植物環境学特論Ⅰ-B	植物環境学特論演習A	植物環境学特論演習B						
		食環境学特論Ⅰ-A	食環境学特論Ⅰ-B	食環境学特論演習A	食環境学特論演習B						
		衣環境学特論Ⅰ-A	衣環境学特論Ⅰ-B	衣環境学特論演習A	衣環境学特論演習B						
		環境バイオテクノロジー特論Ⅰ-A	環境バイオテクノロジー特論Ⅰ-B	環境バイオテクノロジー特論演習A	環境バイオテクノロジー特論演習B						
		電子応用機能特論Ⅰ-A	電子応用機能特論Ⅰ-B	電子応用機能特論演習A	電子応用機能特論演習B						
		生活環境共生特論Ⅰ-A	生活環境共生特論Ⅰ-B	生活環境共生特論演習A	生活環境共生特論演習B						
ライフスタイル特論Ⅰ-A	ライフスタイル特論Ⅰ-B	ライフスタイル特論演習A	ライフスタイル特論演習B								
人間の発達と関係する「社会環境」に関する諸課題を捉え、実践的に解決できる専門的学識と実践能力		産業社会構造特論Ⅰ-A	産業社会構造特論Ⅰ-B	産業社会構造特論演習A	産業社会構造特論演習B						
		都市地域構造特論Ⅰ-A	都市地域構造特論Ⅰ-B	都市地域構造特論演習A	都市地域構造特論演習B						
		農村地域構造特論Ⅰ-A	農村地域構造特論Ⅰ-B	農村地域構造特論演習A	農村地域構造特論演習B						
		国際社会構造特論Ⅰ-A	国際社会構造特論Ⅰ-B	国際社会構造特論演習A	国際社会構造特論演習B						
		社会変動特論Ⅰ-A	社会変動特論Ⅰ-B	社会変動特論演習A	社会変動特論演習B						
		労働社会史特論Ⅰ-A	労働社会史特論Ⅰ-B	労働社会史特論演習A	労働社会史特論演習B						
		比較社会規範特論Ⅰ-A	比較社会規範特論Ⅰ-B	比較社会規範特論演習A	比較社会規範特論演習B						
		社会環境思想史特論Ⅰ-A	社会環境思想史特論Ⅰ-B	社会環境思想史特論演習A	社会環境思想史特論演習B						